

整理 No.	3	分類	コンクリートがれき、未利用資源	
会社名	株式会社 安藤・間			
担当者	土木事業本部土木設計部基礎技術グループ 坂本 守			
連絡先	TEL	03-6234-3670	FAX	03-6234-3704
	E-mail	Sakamoto.mamoru@ad-hzm.co.jp		
技術の名称	コンクリート殻と石炭灰原粉を多量混入した人工地盤築造技術			
概要 (150 字程度)	多量のコンクリート殻、石炭灰、セメント系固化材、水の混練物を一般の盛土工事と同様、層状に敷き均し、天端面から面的に振動を加えることにより、層状混練物を流体化させ締固める盛土等の人工地盤を築造する技術である。			
技術登録等	特許第 3993914 号			
技術の概要	① 製造設備：一般的なコンクリート製造プラント ② 使用材料：コンクリート殻（RC40 相当）、石炭灰原粉、セメント系固化材、水 ③ 運搬方法：ダンプトラックによる ④ 打込み、締固め：バックホウにより層状に敷均し、締固め専用機により天端面から面的に振動を加えて締固め、固化させる。			
次頁 あり・なし	製造プラント  運搬状況   敷均し  締固め状況			

技術の概要 (つづき)	⑤ 固化体の性状： ・密度 1.8～2.0g/cm³ 程度 ・一軸圧縮強度 5N/mm² 以上（5～10 N/mm² 程度） ・土壌環境基準をクリア ⑥ 特許，認証等： ・特許第 3993914 号「多量の微粉体を用いた硬化体製造のための配合比決定方法」 ⑦ 用途：盛土造成材，道路路盤材，護岸ブロック裏込め，農地基盤材等 ⑧ コスト：主材料である石炭灰は廃棄物であることから、中間処理の業許可を保有するプラントで製造することで、通常の土砂による盛土よりも安価に造成することが可能となる。
------------------------	---